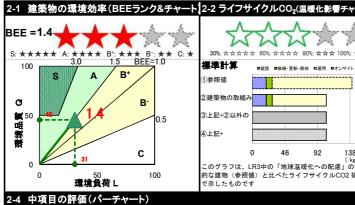
CASBEEあいち

▮評価結果▮

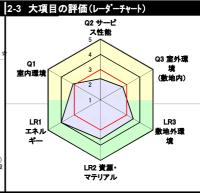
ュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICH



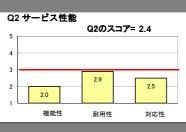






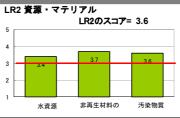


Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1 3.9 3.8 2.4 2.3 音環境 温熱環境 光·視環境 空気質環境











4.0 ④地域材の活用 ②資源の有効活用

2.0 外構綠化指数(外構綠化面積/外構面積)

22.1 %

建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)

0.0 %

③敷地内の緑化

1 () 〈外装材に使用した地域性のある材料〉

なし

<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>

なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。 ①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

①地球温暖化への配慮

LR-31 地球温暖化への配慮 ②資源の有効活用 Q-22 耐用性・信頼性、Q-23 対応性・更新性 LR-22 非再生性資源の使用量削減 ③敷地内の緑化

Q-31生物環境の保全と創出

中高木の樹冠の水平投影面積+低木・地被等の植栽面積 ×100 外構緑化指数=

敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた

屋上緑化面積+壁面緑化面積 建物緑化指数= 建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)



CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

■使用評価マニュアル: 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

		川新築工事		欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.			(/ /				
スコ	アシート	実施設計段階									
	配慮項目		独自基準	建物	勿全体・共月	建物全体	共用部	居·宿泊部	住居·宿	泊部分	
配慮			重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	評価点	重み	解係占	評価点	重み	全体
_	Talk Old May 40 THE AN		-m-71		BT BH MY	HT BM AN	係数	B.L. Berl May	B.L. Ber 1987	係数	0.0
	建築物の環境	(品)									2.8
	室内環境				NAMA		0.40	 		- 4.00	3.1
- 1,	音環境	- ,			KXXXX	2.0		XXXX		1.00	2.3
	1.1 室内騒音	ョレヘル				3.0	0.50		3.0	0.50	
- !	1.2 遮音				000000	1.0	0.50		1.7	0.50	
- 1		月口部遮音性能			- RXXXX	1.0	1.00		1.0	0.30	
		R壁遮音性能 B c x x x x x x x x x x x x x x x x x x			188888	XXXXX	-		2.0	0.30	
		R床遮音性能(軽量衝擊源) R床遮音性能(重量衝擊源)			188888	XXXXX	-		1.0 3.0	0.20 0.20	
- 1		下水巡日任形(里里国掌源)			- KXXXX	88888	-	00000	XXXXX	0.20	
_	1.3 吸音 温熱環境				000000	1.0	0.35	2.5	2.5	1.00	2.4
-	2.1 室温制能	FII.			- 800000	1.0	1.00	3.3	3.3	0.50	2.4
	1 室				KXXXX	1.0	1.00	3.3	3.0	0.63	
- 1		-/		品確法等級4相当	8888	1.0	1.00		4.0	0.38	
		デーン別制御性		HIRE A GOVERN	XXXX	88888	-	XXXX		-	
- 1	2.2 湿度制御				888888	poooo	-	poooo	3.0	0.20	
	2.3 空調方式				- RXXXXX		_		1.0	0.30	
3	光·視環境				XXXXX	2.9	0.25	4.0	4.0	1.00	3.9
0	3.1 昼光利用	II .			- 88888	3.0	0.30	4.0	4.0	0.50	0.3
	1 昼			住居部:2.80%	XXXX	-	-		5.0	0.50	
		5位別開口			188888	****	-		3.0	0.30	
		E光利用設備			88888	3.0	1.00		3.0	0.20	
- 1	3.2 グレア対				XXXXX	2.0	0.30	4.0	4.0	0.50	
	1 昼			住居部は、カーテン+庇(バルコニー)にて昼光制御	8888	2.0	1.00		4.0	1.00	
- 1	3.3 照度	->0-1-71-1			XXXX	1.0	0.15		_	-	
	3.4 照明制御	ip .		共用部の照明をタイマーにて自動制御	88888	5.0	0.25		-	-	
4	空気質環境				888888	3.6	0.25	3.8	3.8	1.00	3.8
- 1	4.1 発生源文	対策			*******	4.0	0.60	4.0	4.0	0.63	
		上学汚染物質		F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用	8888	4.0	1.00		4.0	1.00	
	4.2 換気				XXXXX	3.0	0.40	3.6	3.6	0.38	
	1 換	東 気量			XXXXX	3.0	0.50		3.0	0.33	
		1然換気性能		居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保	888888	*****	-		5.0	0.33	
	3 取	以り入れ外気への配慮			XXXXX	3.0	0.50		3.0	0.33	
	4.3 運用管理	₫			XXXXX	XXXXX	-	88888	XXXXX	-	
	1 C	O₂の監視			XXXXX	******	-	XXXX		-	
	2	型煙の制御			XXXXX	*****	-	XXXX	*****	-	
	サービス性能					_	0.30		-	-	2.4
1	機能性				888888	2.4	0.40	2.0	2.0	1.00	2.0
	1.1 機能性・				889888	3.0	0.40	2.0	2.0	0.60	
		いさ・収納性			D00000	XXXXX	-	88888		-	
- !		高度情報通信設備対応 						KXXXX	******		ı
		バリアフリー計画			188888	\$XXXXX	-	l	2.0	1.00	
- !	1.2 心理性・	快適性	独自			3.0	1.00	XXXX	2.0 XXXX	-	
	1 <i>I</i>		44 H			3.0 1.0	1.00 0.30	l	2.0 2.0 2.0	0.40	
- !	<u> </u>	はき感・景観 (天井高)	毎日			3.0 1.0	1.00 0.30 -	XXXX	2.0 XXXX	-	
		な感・景観 (天井高) フレッシュスペース	41			3.0 1.0	1.00 0.30 - -	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	
	3 内	な感・景観 (天井高) フレッシュスペース 	41			3.0 1.0 1.0	1.00 0.30 - - 1.00	XXXX	2.0 2.0 2.0	0.40	
	3 内 1.3 維持管理	なさ感・景観 (天井高) フレッシュスペース 装計画 	4			3.0 1.0 1.0 3.0	1.00 0.30 - - 1.00 0.30	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	
	3 内 1.3 維持管理 1 組	は (天井高) (天井高) (フレッシュスペース R装計画 里 性持管理に配慮した設計	4			3.0 1.0 1.0 3.0 3.0	1.00 0.30 - - 1.00 0.30 0.50	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	
	3 内 1.3 維持管理 1 組 2 組	さき感・景観 (天井高) 「フレッシュスペース	4 1			3.0 1.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0	1.00 0.30 - - 1.00 0.30 0.50 0.50	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	29
2	3 内 1.3 維持管理 1 組 2 組 耐用性・信頼性	さき感・景観 (天井高) フレッシュスペース 羽装計画 里 里 推持管理に配慮した設計 推持管理用機能の確保	A H			3.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0 2.9	1.00 0.30 - - 1.00 0.30 0.50 0.50	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	2.9
2	3 内 1.3 維持管理 1 維 2 維 耐用性・信頼性 2.1 耐震・免	5さ感・景観 (天井高) フレッシュスペース 羽装計画 里 推持管理に配慮した設計 推持管理用機能の確保 E 震・制震・制振	A H			3.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0 2.9 3.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.31	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	2.9
2	3 内 1.3 維持管理 1 維 2 維 耐用性・信頼性 2.1 耐震・免 1 m	5さ感・景観 (天井高) フレッシュスペース P装計画 世 世特管理に配慮した設計 進持管理用機能の確保 に に に に に に に に に に に に に	8 1			3.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0 2.9 3.0 3.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.31 0.48	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	2.9
2	3 内 1.3 維持管理 1 維 2 維 耐用性·信頼性 2.1 耐震·免 1 耐震·免 2 免	5さ感・景観 (天井高) フレッシュスペース フトッシュスペース 国理 世特管理に配慮した設計 性持管理用機能の確保 を で、・制震・制振 付震性(建物のこわれにくき) を震・制震・制振性能	8 1		33 33 33 33 33 33 33 33 33 33 33 33 33	3.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.31 0.48 0.80 0.20	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	2.9
2	3 内	なき感・景観 (天井高) フレッシュスペース 羽装計画 里	9 .18		- 03 - 03 - 03 - 03 - 03	3.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.31 0.48 0.80 0.20 0.33	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	2.9
2	3 内 1.3 維持管理 1 維 2 解 耐用性·信頼性 2.1 耐震·免 1 配 2 分 2.2 部品·部 1 躯	ない。景観 (天井高) フレッシュスペース 羽装計画 理 推持管理に配慮した設計 推持管理開機能の確保 E 震・制震・制振・制振 対震性(建物のこわれにくさ) を表すの部用年数 区体材料の耐用年数			030000000000000000000000000000000000000	3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.31 0.48 0.80 0.20 0.33 0.23	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	2.9
2	3 内 1.3 維持管理 1 納 耐用性·信頼性 2.1 耐震·免 1 加 2 免 2.2 部品·部 1 鬼 2 列		②	住:壁)20年(ビニルクロス貼り)、天井)20年(ビニルクロス貼り)、		3.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.31 0.48 0.20 0.33 0.23	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	2.9
2	3 内 1.3 維持管理 1 納 耐用性·信頼性 2.1 耐震·免 1 加 2 免 2.2 部品·部 1 鬼 2 列	ない。景観 (天井高) フレッシュスペース 羽装計画 理 推持管理に配慮した設計 推持管理開機能の確保 E 震・制震・制振・制振 対震性(建物のこわれにくさ) を表すの部用年数 区体材料の耐用年数	②	住:壁)20年(ビニルクロス貼り)、天井)20年(ビニルクロス貼り)、 床)20年(ビニル床シート貼り)	200 200 200 200 200 200 200 200 200 200	3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.31 0.48 0.80 0.20 0.33 0.23	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	2.9
2	3 内 1.3 維持管理 1 附用性・信頼性 2.1 耐震・免 1 原 2 タ 2.2 部品・部 1 躯 2 列 3 主	なら感・景観 (天井高) フレッシュスペース 羽装計画 理	②		23 23 23 23 23 23 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24	3.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.31 0.48 0.20 0.33 0.23	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	2.9
2	3 内 1.3 維持管理 2 和 1 2 和 2 和 2 欠 2.2 部品・部 2 欠 3 主 4 空		②		**************************************	3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 2.9 3.0 3.0 4.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.31 0.48 0.80 0.20 0.33 0.23 0.23	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	2.9
2	3 内 1.3 維持管理 計 機構性 2.1 耐震·免 2 祭 2.2 部品·部 1 躯 2 9 3 主 4 空 5 空 5 空	ない。景観 (天井高) フレッシュスペース P 表表計画 理	②	床)20年(ビニル床シート貼り)	23 23 23 23 23 23 23 23 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24	3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 2.9 3.0 2.0 4.0 3.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.31 0.48 0.80 0.20 0.33 0.23 0.23 0.09	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	2.9
2	3 内 1.3 維持管理 計 機構性 2.1 耐震·免 2 祭 2.2 部品·部 1 躯 2 9 3 主 4 空 5 空 5 空	なき感・景観 (天井高) フレッシュスペース 列装計画 里	②	床)20年(ビニル床シート貼り)	200 200 200 200 200 200 200 200 200 200	3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 2.9 3.0 2.0 4.0 3.0 5.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.31 0.48 0.80 0.20 0.33 0.23 0.23 0.09	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	2.9
2	3 内 1.3 維持管理 2 維持管理 2 維持性・信頼性 2 月 2 月 2 月 2 月 3 主 4 空 6 2 月 6 2 月 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1	なき感・景観 (天井高) フレッシュスペース 列装計画 里	②	床)20年(ビニル床シート貼り)	23 23 23 23 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24	3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 2.9 3.0 2.9 3.0 2.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.31 0.48 0.80 0.20 0.33 0.23 0.23 0.09 0.08 0.15 0.23	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	2.9
2	3 内 1.3 維持管理 新用性·信賴性 2.1 耐震·免派 2 タ 2.2 部品·部 1 型 3 主 4 空 5 空 6 主 2.4 信賴性 1 型		②	床)20年(ビニル床シート貼り)	99 99 99 99 99	3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 2.9 3.0 2.0 4.0 3.0 2.0 2.0 2.0 2.8	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.31 0.48 0.80 0.20 0.33 0.23 0.23 0.09	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	2.9
2	3 内 1.3 維持管理 # 持管理 # 持度	ない。景観 (天井高) フレッシュスペース P 表表計画 理	②	床)20年(ビニル床シート貼り)	293 203 203 203 203 203 203 203 203 203 20	3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 2.9 3.0 2.0 4.0 3.0 5.0 5.0 2.8 3.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.31 0.48 0.20 0.33 0.23 0.09 0.08 0.15 0.23 0.19 0.20	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	2.9
2	3 内 1.3 維持管理 1 相持管理 2 和 耐用性・信頼性 2.1 耐震・免: 1 原 免: 2 タ 3 主 4 空空 6 主 2.4 信頼性 1 空 6 主 2 名 3 音	なき感・景観 (天井高) フレッシュスペース 列装計画 里	2	床)20年(ビニル床シート貼り)	99 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 9	3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	1.00 0.30 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.50 0.31 0.48 0.80 0.23 0.23 0.23 0.09 0.08 0.15 0.23 0.19 0.20	XXXX	2.0 2.0 3.0 3.0	0.40 0.50	2.9

-	対応性・更新性			KOGGO	3.0	0.29	25	25	1.00	2.5
3				***	لحكما	0.29	2.5	2.5	1.00	2.5
	3.1 空間のゆとり			DOOOX	XXXQQXX	-	2.0	2.0	0.50	
	1 階高のゆとり			‱	KXXXXX	-		2.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ			XXXX	1 0000001	-		2.0	0.40	1 1
	3.2 荷重のゆとり			888888	******	-		3.0	0.50	1 1
	3.3 設備の更新性			XXXX	3.0	1.00	88888	XXXXX	-	1 1
	1 空調配管の更新性	2		XXXX	3.0	0.17	XXXXX	XXXXX	-	
	2 給排水管の更新性			XXXX	3.0	0.17	88888	*****	-	
	3 電気配線の更新性			***	3.0	0.11	XXXXX	****	_	
	4 通信配線の更新性			***	3.0	0.11	XXXXX	*****		
				XXXX	3.0	0.11	XXXXX	XXXXX	-	
				XXXX			****	****	-	
	6 バックアップスペースの確保			555555	3.0	0.22	333333	500000	-	
	室外環境(敷地内)				-	0.30		-	-	2.7
	生物環境の保全と創出	独自③		⋘	2.0	0.30	XXXXX	XXXXX	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	独自4		XXXX	3.0	0.40	∞		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	XXXXX	*****	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自4		XXXX	3.0	0.50	*****	****	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			XXXX	3.0	0.50	XXXXX	*****	-	
I R	建築物の環境負荷低減性			~~~		-	VVVV	~~~~	-	3.7
	エネルギー				1	0.40			-	
			品確法等級4相当	XXXX	40		DOOOO	00000		4.0
	建物外皮の熱負荷抑制		BR ME /A マポスプロコ			0.33	****		-	4.0
	自然エネルギー利用			CÓ C	3.0	0.17	XXXXX	XXXXX	-	3.0
	設備システムの高効率化		節湯水栓、LED照明の採月	XXXX	5.0	0.33	*****	XXXXXX	-	5.0
4	効率的運用			XXXX	3.0	0.17	XXXXX		-	3.0
	集合住宅以外の評価			XXXX		-	XXXXX	XXXXXX	-	
	4.1 モニタリング			XXXXX	KXXXXX	-	XXXXX		-	
	4.2 運用管理体制			XXXX	KXXXXXI	-	XXXXX		-	
	集合住宅の評価			XXXX	3.0	1.00	XXXXX	XXXXX	_	
	4.1 モニタリング			8000	3.0	0.50	XXXXX			
				K8888		0.50	XXXXX	888888	-	
	4.2 運用管理体制			88888	3.0		SSSSSS	888888	-	
	資源・マテリアル				-	0.30			-	3.6
1	水資源保護			$\times\!\!\times\!\!\times\!\!\times$	3.4	0.15	XXXXX	****	-	3.4
	1.1 節水		節湯水栓、節水型便器の採用	XXXX	4.0	0.40	XXXXX	******	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			₹	3.0	0.60	XXXXX	****	-	
	1 雨水利用システム導入の有無			XXXX	3.0	1.00	XXXXX	XXXXX	_	
	2 雑排水等利用システム導入の有無			***	******	_	XXXX	****	_	
-	非再生性資源の使用量削減			KOGGO	3.7	0.63	****	*****	-	3.7
4				***			*****	*****	-	3.7
	2.1 材料使用量の削減			ண≪	2.0	0.07	XXXXX	****	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			XXXX	3.0	0.24	XXXXX	XXXXX	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	2	_	***	3.0	0.20	XXXX	****	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	独自	集成材(キッチンカウンター)、タイル(床)、パーティクルボード(内装	XXXX	5.0	0.20	88888	*****	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			88888	2.0	0.05	XXXXX	888888	-	
	* * *** * * * * * * * * * * * * * * *	44.4	内装が乾式工法で分別が容易	∞	ا ا		*****	*****		
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自	PS・天井内配管により設備との錯綜を回避	8888	5.0	0.24	88888	XXXXX	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			00000	3.6	0.22	XXXXX	*****		3.6
ľ	3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	₩₩	*****		0.0
							XXXXX	*****	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			DOXXXX	4.0	0.68	88888	888888	-	
	1 消火剤		Water the state of	XXXX	1 · 1	-	XXXXX	XXXXX	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		発泡断熱材はノンフロン製品を採用	XXXX	5.0	0.50	XXXXX	XXXXX	-	
	3 冷媒			XXXXXX	3.0	0.50	XXXXX	200	-	
	敷地外環境				_	0.30		-		3.5
1	地球温暖化への配慮	1	LCCO2排出量を参照値より抑制	XXXX	4.0	0.33	XXXXX		-	4.0
2	地域環境への配慮			XXXXX	3.5	0.33	XXXXX	XXXXX	-	3.5
	2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	XXXXX		-	
			風環境を把握している、隣棟間隔指数Rwが1.63、地表面対策面積	KXXXX	1 B		88888	888888		
	2.2 温熱環境悪化の改善		率が30.31%等	8888	4.0	0.50	XXXXX	XXXXX	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			XXXX	3.0	0.25	XXXXX	XXXXXX		
		24 ÷					XXXXX		-	
	1 雨水排水負荷低減	独自		XXXX	3.0	0.25	XXXXX		-	
	2 汚水処理負荷抑制		Winter the thing of the country of t	KXXXX	3.0	0.25	XXXXX	XXXXX	-	
	3 交通負荷抑制	独自	適切な駐車、駐輪場の確保、複数の出入り口の確保	XXXX	4.0	0.25	XXXXX		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制			KXXX	2.0	0.25	XXXXX		-	
3	周辺環境への配慮		·	XXXX	3.1	0.33	XXXXX	XXXXX	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			XXXXX	3.0	0.40	XXXXX		-	
	1 騒音	独自		KXXX	3.0	1.00	88888	888888	-	
	2 振動	独自		XXXX	8 °.° I	-	88888		_	
		741		K8888	3 . I		XXXXX	88888		1
	3 悪臭				20	0.40	XXXXX		-	1
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			XXXX	3.0	0.40	XXXXX		-	
	1 風害の抑制			⋘≪	3.0	0.70	XXXXX	****	-	
	2 砂塵の抑制			XXXX	*******	-	XXXXX			
	3 日照阻害の抑制			****	3.0	0.30	XXXXX	88888	-	
	3.3 光害の抑制			XXXXX	3.7	0.20	*****		-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害チェックリストの一部を満たす、広告物照明がない	\$\$\$\$\$	4.0	0.70	XXXXX		-	
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			KXXXX	3.0	0.30	XXXXX	888888	-	
_				~ v v v ^			~ v v v v	~ v v^^/		

■使用評価マニュアル<mark>CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引</mark>き

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項	目(配慮項目)	評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策					4. 0
	LR3-1	地球温暖化への配慮	4.0	0.10	
2	資源の有効	3. 3			
	Q2-2	耐震性·信頼性	2.9	0.09	
	Q2-3	対応性·更新性	3.0	0.09	
	LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.7	0.19	
3	敷地内の緑	化			2. 0
	Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:22.07%/建物緑化:0%
4	④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
	Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	_	なし
	Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化 重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

	計画上の配慮事項
総合	壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造を採用することで、木製型枠をほとんど 使用せず、在来工法に比べ産業廃棄物の排出を減量化できCO2の削減に貢 献できます。また周辺環境にやさしく、低騒音、低振動で粉塵も少なく、工期 も短い工法となっています。
Q1 室内環境	住戸の窓には、複層がラスを採用し、外部に面する屋根・壁・床に十分な断熱をするなど、建物の熱負荷低減に配慮した。
Q2 サービス性能	壁式構造とする事で、室内に柱型や構造梁が出てこない為、空間を自由に 使える建物となっています。
Q3 室外環境(敷地内)	周辺の住宅地に配慮した計画とし、、可能な限り植栽を設け、ゆとりと潤いのある空間とした。
LR1 エネルギー	複層がうスを採用し熱負荷低減に配慮した。またLED照明及び高効率給湯器を一部採用によりエネルギーの削減を図った。
LR2 資源・マテリアル	断熱材にハフロン(A種)を採用する事で地球環境に配慮した。またPC工場では鋼製型枠を使用し、現場では木製型枠をほとんど使用しない為、熱帯雨林の保護に貢献しています。
LR3 敷地外環境	LCCO2の排出を参照値より抑制している。
その他	